

【総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
社会規範論		必修	1	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
岡田 大助	教員控室	kango	授業後に質問等受付		
授業の目的・概要	<p>[目的]「社会規範論」では社会規範とは何か、法とは何か、そして、社会規範の一つとしての法とそれ以外の社会規範との関係について具体的例を用いながら学習することにより、社会規範の大切さを理解すること、将来的に社会で役立てることができるリーガルマインド (法的思考力) の素養を身に付けることを目的とする。</p> <p>[概要]「社会規範論」では社会規範の基本を踏まえたうえで、特に法とその他の社会規範との関係を理解する。法は社会規範であるが、国家等によって強制されるのを原則とする点で、その他の社会規範とは異なる性質を有する。そして、それらを踏まえて、現代の医療における諸問題をテーマとして扱っていく。本講義では第1回から第3回までは社会規範の基本、第4回から第8回までは現代の医療における法とその他の社会規範との関係の諸問題をテーマとする、という構成である。必要に応じて、法令の規定、国際法の規定等も参照する。</p>				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	法とその他の社会規範との関係の問題は、顕在化しているものもあるが、潜在化しているものもある。普段から新聞、テレビ、そしてインターネット等で情報を受信し、問題の本質について自分で考える習慣をもつこと。				
教科書	使用しない。毎回、レジュメ等を配布する。				
参考書	授業中に適宜紹介する。				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	社会規範の基本的な知識について説明することができる。		HSU(1)～(5)、NS(1)～(4)		
②	法令とその序列、法の分類について説明することができる。		HSU(1)～(5)、NS(1)～(4)		
③	法と道德との関係、権利と義務との関係について説明することができる。		HSU(1)～(5)、NS(1)～(4)		
④	現代の医療における諸問題について法とその他の社会規範との関係について説明することができる。		HSU(1)～(5)、NS(1)～(4)		
⑤	現代の医療における問題を発見し、解決策を論理的に提示することができる。		HSU(1)～(6)、NS(1)～(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	講義の概要説明。社会規範、法について学習する。	同時双方向型授業	課題を作成・提出する。	4	
2	法令とその序列、法の分類について学習する。	同時双方向型授業	課題を作成・提出する。	4	
3	法と道德、権利と義務について学習する。	同時双方向型授業	課題を作成・提出する。	4	
4	安楽死・尊厳死について学習する。	同時双方向型授業、PBL	課題を作成・提出する。	4	
5	臓器移植について学習する。	同時双方向型授業、PBL	課題を作成・提出する。	4	
6	医療事故について学習する。	同時双方向型授業、PBL	課題を作成・提出する。	4	
7	避妊、不妊手術、人工妊娠中絶について学習する。	同時双方向型授業、PBL	課題を作成・提出する。	4	
8	予防接種について学習する。	同時双方向型授業、PBL	課題を作成・提出する。	4	
試	学期末レポート 下記「達成度評価」「評価のポイント」等を参照すること。				

【総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
総合力指標	知識・技術力	0	60	0	0	40	100
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	0	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
レポート	①	✓	学期末レポートは、Teams 上で指示し、指定した期限・条件にて Teams 上で提出 論述式 (60 点)				終了後に、Teams にてコメント及び評点のポイント等について期間限定で公開する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①	✓	毎回の課題は、Teams 上で指示し、指定した期限・条件にて Teams 上で提出 論述式または選択式 (40 点)				終了後に、Teams にてコメントないし解答を返信する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教 員 の 実 務 経 験	担当教員は、約 2 年間、文部科学省の特別の機関の下部組織である委員会における議事録を作成した実務経験を有する。						
実践的授業の内容	政府の委員会における議事録を作成した実務経験を有する教員が、文章の作成方法や言葉の定義付け等についての説明を交えつつ講義を進め、履修者における論述の上達を目指す。						
そ の 他	良識をもって授業に臨むこと。						